

本草圖譜卷之三十九目錄

石草類

石解	石解	一種	石解
一種	石解	一種	石解
一種	石解	一種	石解
一種	石解	一種	石解
一種	石解	一種	石解
骨碎補	骨碎補	一種	骨碎補

一種	濃別り産	一種	みぞふが
一種	うづふが かきふが	一種	うづふが 時ふが
石長生	うづふが	一種	うづふが
一種	うづふが	一種	うづふが
通泉草 録附	うづふが	一種	うづふが
一種	うづふが	一種	うづふが
一種	うづふが 婦生	石莧	うづふが

一種	うづふが	一種	うづふが	六
一種	うづふが	石莧	うづふが	七
一種	うづふが	一種	うづふが	
一種	うづふが かきふが	一種	うづふが	
一種	うづふが	一種	うづふが	
一種	うづふが	一種	うづふが 俗に壺天懸と 稱する物	
一種	うづふが 俗に獅子と 稱する物	一種	うづふが	
一種	うづふが	金星草	うづふが	三

本草圖譜卷之三十九

東都 岩崎常正 著

石草類



一種

ふとく稱する物



一種

なまぐし稱する物



一種

ふとく

稱する物



一種

ふとく

稱する物



一種

ふとく

稱する物



一種

石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛

石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛



一種

小石物

一種

石斛 石斛 石斛

石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛

石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛



一種

石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛
 石斛 石斛 石斛





暖國の山中の生以四時固より根の形を龍のや小指り大さ車輪
 又薑芋に似て石上の貼し緑色や黄褐色の毛あり凍柏持渡る
 處の物と異なり煖處の又暖所香気無又石草に似たり
 根年を経る物より生する葉の三七に似て硬く又小異武草に似
 て葉は長一尺許葉頌宗藥時珍等皆暖處を介し種あり云
 符合

一種 加列の産

形状相似葉
 根皆小



一種

つるがき



あふ
あふ
あふ



根の骨 補 種 好 効
似て 細く 毛 少く 葉 小
貫 葉 葉 似て 軟 弱
垣 毛 多



一種

あふ

一種

海 列 骨 碎 補 草 類 木

尾 列 草 類 木

處處 深 山 木 石 生 根 の
葉 管 大 蔓 延 毛 多
毛 葉 小 似て 細 密 冬 月
葉 根 枯 干

葉 頭 又 毛
や 葉 尾
の 細 密 極
子 多



一種

ひんぷふ
たふふ

小雉尾草

山草部 葉連條



諸國深山の多し形
似く蕨生一四時増す
以葉背の花實あり

石 草

いふふ

和名

いふふ

和名

いふふ

漢名

いふふ

いふふ

ソニアナリヤ

蘭

山中陰處石間の生い根の葉の管より細く蔓延し一節一葉を
生以小葉の幅一寸長二三寸大なる葉の幅二三寸長一二尺
葉の背の花実を生い黄赤色獸皮に似たり四時増す以葉
の物あり細き物あり又葉の頭両岐を有する物あり

石韋

いふを



一 種

石韋

杏葉石韋 本草

無短形
 七分如頭尖
 う長さ二三寸
 許う是時珍
 説云杏葉と云
 物是也



石草 石上生 葉如雞冠 花如雞冠 根如雞冠



一種

石草

石草 石上生 葉如雞冠 花如雞冠 根如雞冠



一種

石草 石上生 葉如雞冠 花如雞冠 根如雞冠



一種

以日ちり

之イハム 長蝦

豆列武列八王子
 及ハ諸國山中皆
 ちう若石上ハ生
 以敷ハ三丈ちや
 瑞蟠ハ飛形ハ
 似ハ又蒸姑ハ葉
 似ハ



一種

いりみの

根葉生葉幅三
 四分長さ三四寸
 形金星草ハ
 似ハ葉背ハ星長
 形蛾眉ハ如ク
 葉ハ利ハ生ハ



一 種

龍
鬚
草
一名
龍鬚
一名
龍鬚
一名
龍鬚



一 種

龍
鬚
草
一名
龍鬚
一名
龍鬚
一名
龍鬚

龍
鬚
草
一名
龍鬚
一名
龍鬚
一名
龍鬚

龍
鬚
草
一名
龍鬚
一名
龍鬚
一名
龍鬚

龍
鬚
草
一名
龍鬚
一名
龍鬚
一名
龍鬚

諸國の山中人家の庭際
わが樹の皮及び石の隙
て生ひぬる如く身は
深緑色背は黄赤色の
う故にやうなるなり



一種

いんげん



一種

此の葉は
六枚より三
枚に至る物
あり
俗に玉簪子
と云
此外品類
多し

馬場の宮本宮
の葉幅一分餘
長
七八寸建
葉の

一種

此の葉は
深き物を俗
に登天鶴と
云

此物
條の金
星草
の類
なり

一種

いんげん
みんげん
うげん
かきん



深山の岩石上
葉を生い形
葉の形は
葉の形は
葉の形は

金星草

あーろろそ

うらぶ

前筑

紀別和列豆列の下田及八丈嶋の多し根の石叢の如く葉々葉々生ひ
石叢の如く薄く幅一寸長四寸許り背の花実を生ひ金星の如く

一 種

濃列の産

稟極く木瀬のやまに生ひたる物なり

一 種

みづでうらぶ

金雞脚

葉性
要畧

若石上の生ひ形金星草の如く小く茎細く赤の如く葉三枚なり
て鶏の脚の如く指は金星の如く

一 種

尾列より来る物の葉の周邊の花より物なり俗に獅子と云

一 種

金雞脚の如く似て生ひたる物なり

金星草



金雞納

金雞納

濃州の産



金雞納

岐の産物



石長生

ちうめさう

ぬうがう

ちうんだう

ちうめさう

別記

ちうめさう

別記

ちうめさう

後賦

諸國の山中石炭の如く生じ葉細くや赤黒色葉の形鳥糞の如く大つて一根葉生す夏月新葉を生じ紅色なり

一種

ちうめさう

ちうめさう

新板

ちうめさう

別阿

ちうめさう

諸國の山中石炭の如く生じ葉細くや赤黒色葉の形鳥糞の如く大つて一根葉生す夏月新葉を生じ紅色なり

一種

ちうめさう

カツヘリサウ

同

カツテイフ

荷

二子レス

上

鳳尾草

葉

鐵

銀草

葉

諸國の山中石炭の如く生じ葉細くや赤黒色葉の形鳥糞の如く大つて一根葉生す夏月新葉を生じ紅色なり

一種

ちうめさう

諸國の山中石炭の如く生じ葉細くや赤黒色葉の形鳥糞の如く大つて一根葉生す夏月新葉を生じ紅色なり



石長生

石長生



石長生

石長生



通泉草 録附 金づめ

白花树

同丁 22.7.24 11.2 22.7.24 11.2

張其昌 題

↑ 100% ↑ 20% ↑ 10% ↑ 5% ↑ 2% ↑ 1%

飛檐花 小物 威理 長生 同上

平泉縣地方多宿根生

葉の松を似て小對生、地ふ

貼一十生以節間之為相色生

[Faint handwritten notes at the bottom of the page]

色多入紅花白黃點

寫物又花子物等字物

理小鐵云通厚薄尊他地丁

中樞室白花柳下長年芳香

普國圖



一種

あつそむ

夏月庭陰に生く草花
葉対生し花小く淡紫色を
成す

一種

あつそむ

形状あつそむ
中似て小なり



一種

あつそむ

草細長くやや濕
枯草の如く
葉生し色淡く
澤みく花の通泉
草の如く
淡紫色を物

一種

あつそむ

あやふ

草細長くやや濕
枯草の如く
葉生し色淡く
澤みく花の通泉
草の如く
淡紫色を物



石草

石草
石草
石草



相列七里濱房列海邊砂地より宿根
 生し地を引いて蔓の如く節々根を土
 以葉の馬齒莧に似て浅鋸齒より又貴
 菜の花に似て野生す秋月葉の徳を以
 以形地榆に似て淡紫色の小花を咲

本草圖譜卷之三十六目錄



石草類

景天	ぜんけいそう	一	一種	たちきそふ	二
一種	莖葉色三葉 對生する物		一種	信別本曾の産	三
一種	あらねんりそう	四	一種	つるんね	
一種	みそがやそう	五	一説 弘景誤	きふんか	六
一種	ちまね	七	一種	物之印忙か載る所	八
一説 實録 諸慎大	さげん	九	一種	さげんさげん	十

一種	ちりきり	一種	セリウス	土
佛甲草	ちりきり	一種	ちりきり	土
一種	ちりきり	一種	ちりきり	土
虎耳草	ちりきり 古	一種	常列の産	
一種	ちりきり 十五	一種	ちりきり	
一種	ちりきり 十六	一種	ちりきり	
一種	信列本曾の産	一種	ちりきり	七
一種	ちりきり 十六	一種	ちりきり	八

一種	ちりきり	一種	ちりきり	十九
一種	セリウス類	一種	同上	
一種	同上	一種	同上	
一種	ちりきり 廿	一種	ちりきり	
一種	同上 廿一	一種	ちりきり	
一種	ちりきり 廿二			

本草圖譜卷之三十六

東都 岩崎常正 著

石草類

景天

いさご 和名 鈔

いぢや 新校 正

いぢや 京

いさご 漢

いぢや 加

佛指甲 本草

人家庭除子栽也春日宿根より生ひ莖肥太節二尺許の葉冬青
なり似て堅く粉緑色二葉對生に秋に梢に房をけり花は白く
淡紅色又白花あり

景天

げんじしや



一種

たぢふぢふや



形狀景天に似て小
く葉一對生一花淡緑
色形景天に同

一 種

花は常の如く大茎
葉色三葉對生は物

一 種

信列木曾産

形は小葉大
似て小葉物



一種

あけび



形状 梨の如く
 葉の背 紅紫色
 花 淡紅色



一種
つる
べんぐら



尾列ふる末る重長
うそいふんげり如
く丘生一茎弱く地
は撥い生い花の
果天多と同一

一種

みぎやう

宿根ふ時一茎赤く
三葉對生一葉圓く鋸
齒ありて周邊は紅色
を帯び夏月茎上小房
をくち立辨の小紅花
を横簇す葉頃の説
小俗此齒草と云長
き



一 說

慎火樹

景私

了了

イホウ工ホウ工 荷

龍骨木

杜康草

霸王鞭

毛屑

火秧

廣東新語

南方無國の地、産、以、近、頃、本、邦、へ、渡、う、人、家、の、多、く、裁、ち、甚、だ、寒、
 生、恐、る、故、に、冬、月、の、害、中、の、藏、む、幹、の、五、枝、あ、う、い、ね、一、九、芒、刺、
 の、深、緑、色、の、形、角、の、如、く、又、骨、の、如、く、梢、の、無、り、景、天、符、
 の、如、く、葉、を、摘、み、白、汁、出、春、月、無、節、の、二、分、許、イ、の、毛、の、四、
 辨、解、し、一、葉、黒、色、の、私、景、曰、廣、列、城、外、有、一、樹、大、三、四、圓、
 名、慎、火、樹、馬、志、嶺、表、人、言、從、謬、言、非、陶、氏、語、と、し、然、る、

廣東新語の慎火一名戒火其形如火始無名火秧扁者
 不枝不華圓者多枝葉叢生成叢四枝有芒刺皮中有白
 髓圓者云龍骨木在說又物理小識云霸王鞭有刺作籬
 斷汁甚濃又杜康草木志云龍骨木色翠靑狀如枯骨又
 毛屑百詠云霸王樹一種方長類鉤者号霸王鞭と云了
 諸説皆了了然れど大較は了の類なり景天符の
 爲るは其同名なり因て此條を混入し私景の説を金盛
 養屋上云可辟火と云物ハ景天符を指す

一 種

了了

枝幹扁く伸掌薯蕷の形を有す物

慎火樹
名火樹
誤五
弘景

きりん



木部 第七



一 種

物之印を此に載る所なり



霸王樹

アガベ



花



實
生
物



アガベ



アガベ



アガベ

アガベ



佛甲草

花紅花白 葉如竹

花如竹葉 葉如竹

花如竹葉 葉如竹



石間生以葉細長
花如竹葉生地濕枯
草如竹葉生地濕枯
色如竹葉生地濕枯
夏月五瓣的小黃花
生如竹

一 種

花如竹葉

石上生以葉
圓如竹葉生
以葉如竹葉
花如佛甲草
生如竹葉
葉如竹葉



一 種

木石上

木石上 貼十
細蔓 葉子如
馬齒 齒如
似豆 生花
佛甲 草
子似 積木



一 種

木石上

木石上

濃列 及以三列
山中 自生
數刀 水所
似豆 又小
似豆 又小
似豆 又小
似豆 又小
似豆 又小
似豆 又小



虎耳草

わさるゝ ちるゝ 前筑

人家庭際多栽也
葉の圓く浅き鋸齒
あり葉共小紅色又
紅色の毛茸の夏目
茎を抽く花の白色
三瓣の小く二瓣の大
少後三丈の朝に
結入根の傍に紅色の
長髪を垂れ地を落
根を貼る苗を生以



一種

常々列の産

尋常の物に似て
生葉共に
用ひ



一種

やぶやきのうた

敷み地刻濕く子やふ
又くわさうの敷み似て
毛茸の紅花耳草
根傍に長き鬚
あり



一種

山園四時
山園四時

景ふ缺刻
深く鋸齒
多きところ



一種

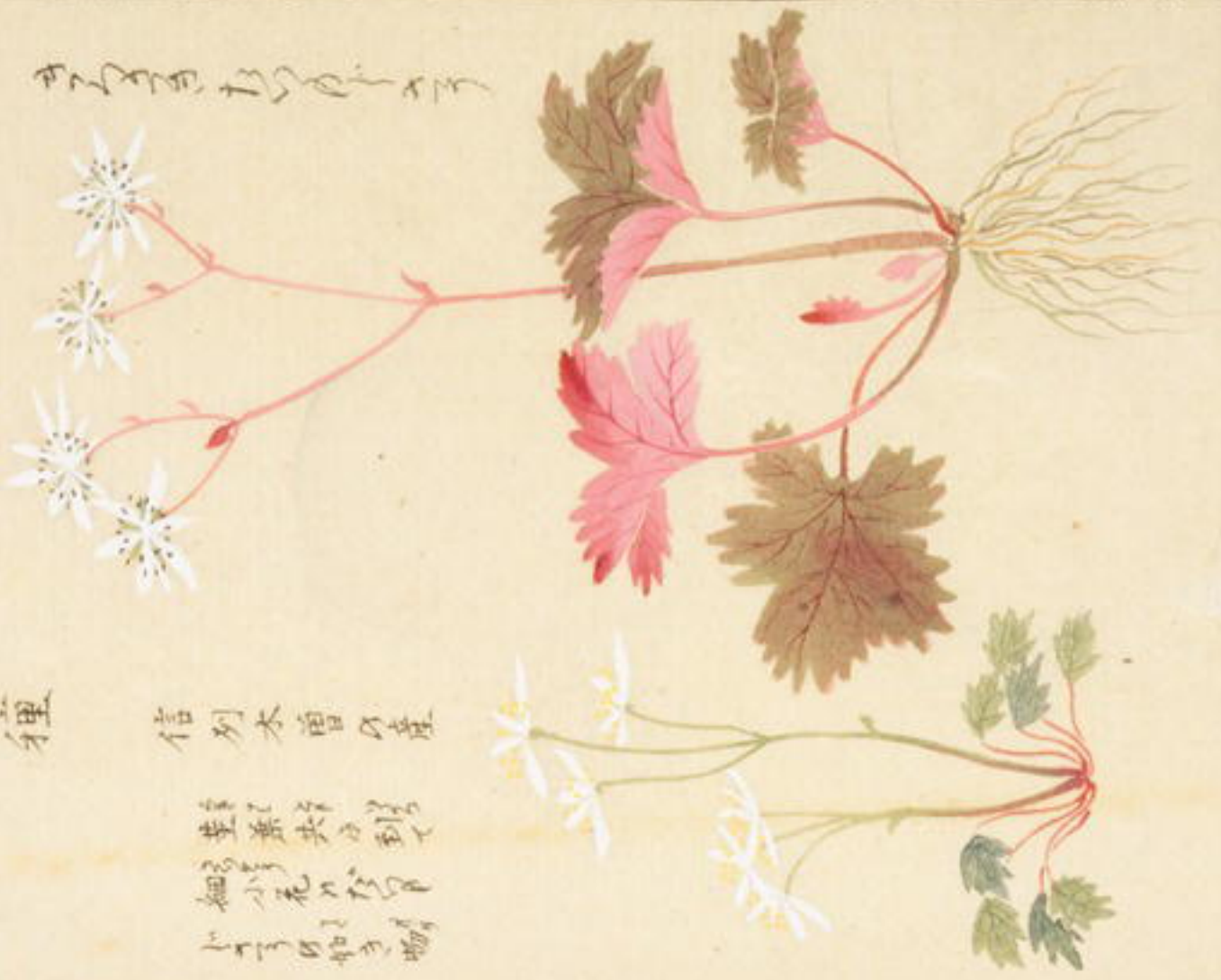
山園四時

江州伊吹山に産する
背茂紅色根は鬚多し花は形
大の字に似たり故に名づく



一種

野山草
光澤紫
花十
餘瓣
單瓣
如菊



一種

信列本曾の産
茎葉共に
細小花
一より多



一種

大木不秋
葉之周鋸齒
葉綠色秋月
花葉前葉



一種

あなま
ちふふ
う

葉の背面及び
ひきくる緑
色



一種

あなま

葉の形は
少くとも多くは
多山中自生
ものに肥大



一種

ミズナミ

野列日光山
 葉の形圓く
 中葉の縁に
 おや植草
 似て花は
 草の如く



一種

ミズナミ

信州木曾及
 山中の産
 形はミズナミ
 厚く緑色
 間葉を抽て
 り小白花を





本草綱目

卷之二十一

十一



一種

セキエンノ類

物之印此を載る
所は物四西

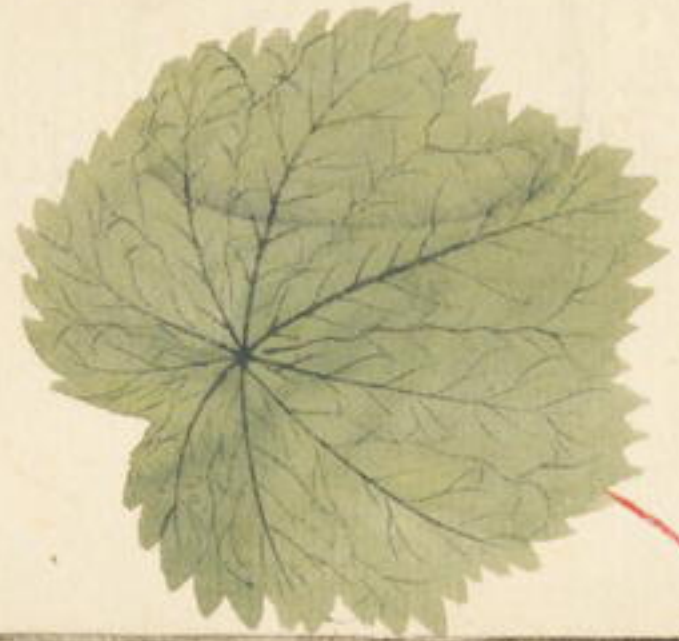
本草綱目

卷之二十一

一 種

たまごな まるあや京 たきあひ やわら

野刈日光山少あり春即宿根より生ひ茎紅色軟り大さ掌の如く圓りて
缺刻又鋸齒あり春月五瓣の花を結く瓣の鋸齒ありて白色微黄を
帯入實は虎耳草に似て大なり



一種

ちやるる



城州山産
花は常の如し
葉は毛草多し
花は黄色

一種

ちやるる

野州日光山の産
葉は秋刻及の鋸齒
花は毛草多し春日穂
色は黄色花は似る



花は似る

一種

づたやらあも 別信



づたやらあも 別信
治す功あり故に名は 跋 富
土野列日光山等み葉のちから
さうめ似て茎高き七八寸小葉兩
附生し 茎は 穂を ちや 五 穂の
小白花を 穂く 其 実 穀の 形を ちや

一種

やまゆきあも



葉長く加條きぬ似て幅
五六分長さ一十餘又夜
落金錢宝ふり似て骨
淡紫き色夏月二三寸の茎
を 穂く 穂を ちや 小 穂 黄
白花を 穂く 根の 傍に 短
き 鬚を ちや 藪を 野に

本草圖譜卷之三十七目錄



石草類

石胡荽	かきふさ 二	一種	大葉の物
一種	小葉の物	一種	つるふさ
螺麝草	まめふけ 三	一種	細小の物
酢漿草	さくさ 四	一種	大葉の物
赤孫施 名釋	あかごん 五	一種	かきふさ 五
一種	大葉のやまかきふさ	酸草 附錄	評 かきふさ

三葉附錄 詳カ 三	地錦 六
金瘡小草附錄 白 一	一種 白花の物
一種 七	離島草 七
仙人草 八	一種 八
一種 紅花の物	一種 碧花の物 九
仙人掌草 十	一種 十
崖櫻 十一	一種 十一 葉の中心に 美斑ある物
鶏翁藤附錄 詳カ 十二	半天回附錄 詳カ 十三

野蘭根附錄 詳カ 十三	紫背金盤 十三
白龍鬚 十四	萬縷草集解 十四
苔類	
陟躋 十五	水綿集解 十六 時珍
乾苔 十七	江離集解 十七 時珍
井中苔及萍藍 十八 國志に據る	船底苔 十八 國志に據る
石蕊 十九	一種 十九
地衣草 二十	一種 二十

一種

三權一統

一種

$\frac{1}{2} \frac{1}{2} \frac{1}{2} \frac{1}{2}$
 $28 \text{ m } 11$

地衣草

即搗天皮

垣衣

27/20
Circuit. #

遊屋

壬戌六月廿

本草圖譜卷之三十七

東都 岩崎常正 著

石草類

類名

石胡荽 かきんぎょ 江戸 ちんぎょ 上同

山野及び人家の陰地小生に葉の圓く鋸齒あり胡荽の
苗の如くして光澤あり莖地を蔓延す

一 種

大葉の如く形状本條小異なり

一 種

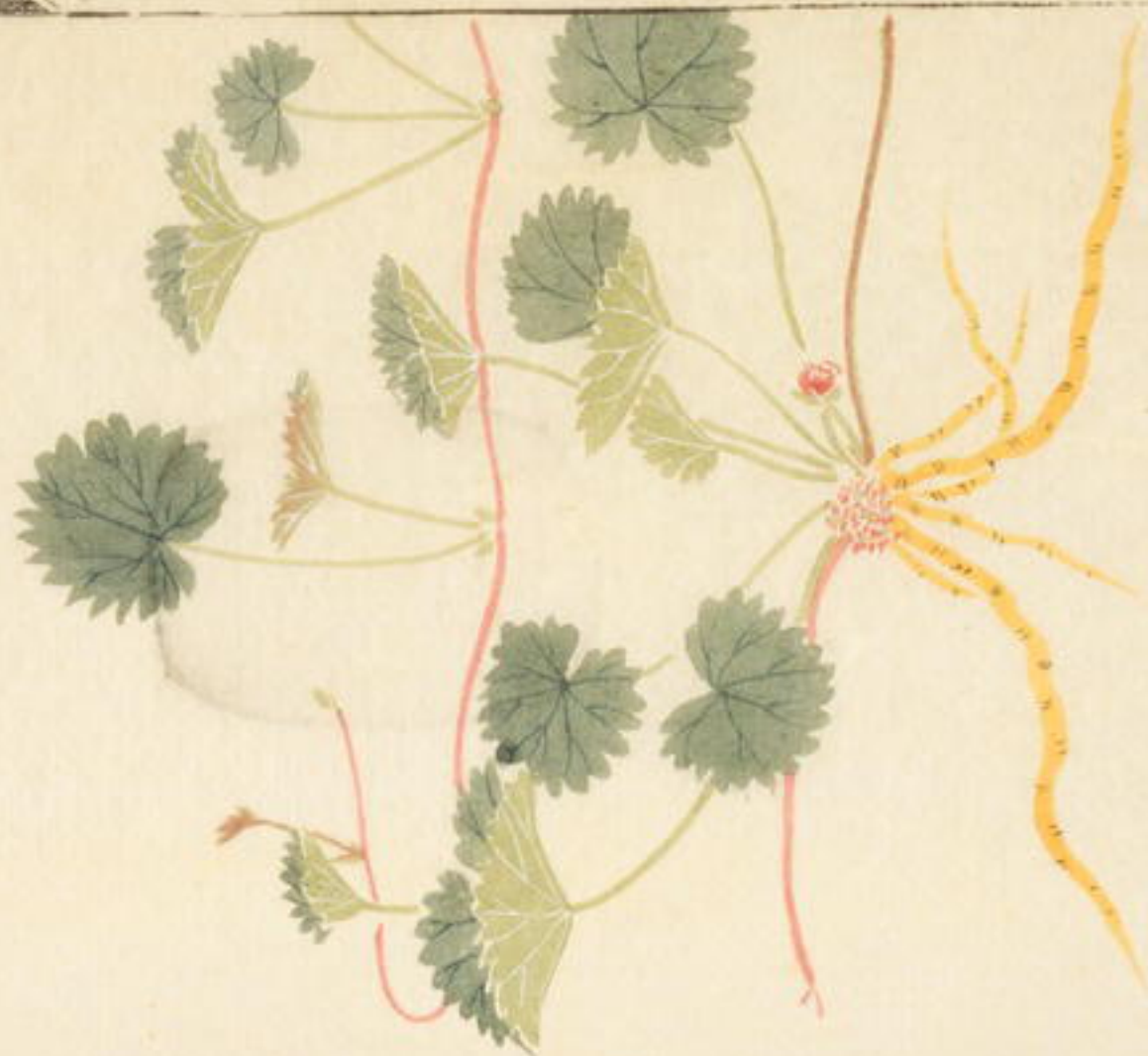
小葉の如く深山小生に葉の鋭く色深



一種

つふさ

田^ノ野^ノ東^ノ谷^ノ
 生^スす^ル莖^ノ蔓^ノ引^ク
 一^ノ節^ノ毎^ノに^ノ根^ノ
 を^ノ生^スは^ス葉^ノに^ノ
 銭^ノの^ノ大^ノさ^ノや^ノり^ノ
 鉾^ノの^ノ歯^ノみ^ノう^ノ先^ノ
 草^ノ此^ノ物^ノと^ノ積^ノ
 雪^ノ草^ノ小^ノ元^ノ
 檀^ノの^ノひ^ノ



ら^ノえ^ノさ^ノ
 螺^ノ電^ノ草^ノ ま^ノあ^ノづ^ノく^ノ江^ノ

南^ノ方^ノの^ノ深^ノ山^ノ皆^ノに^ノ、^ノ巖^ノ石^ノ上^ノに^ノ密^ノ布^ノを^ノ莖^ノ細^ノく^ノ延^ノ引^ノく^ノ一^ノ葉^ノの^ノ葉^ノ
 を^ノ生^スは^ス青^ノ大^ノ豆^ノの^ノ如^ノく^ノ、^ノ頗^ノ不^ノ割^ノたり^ノを^ノ如^ノく^ノ、^ノ銭^ノの^ノ大^ノさ^ノや^ノり^ノの^ノ如^ノく^ノ、^ノ先^ノ澤^ノの^ノ間^ノに^ノ
 五^ノ六^ノ分^ノの^ノ長^ノ葉^ノを^ノ生^ス一^ノ葉^ノの^ノ背^ノに^ノ小^ノ襦^ノ色^ノの^ノ粉^ノあ^ノり^ノ此^ノ花^ノま^ノな^ノり

螺 屬 草

一 種

尾列ふく来る物

細葉俱ふ
細小物



酢 漿 草

すずな江

かきふ

すずなのさか

後秋

一 種

大葉の物



人家庭際ふ多く生ひ宿根
より出つ一茎三葉夏月丑解
のふき黄な花を開く後長き
角を結ふ此ふ 縮れ 角裂
て子散らす



赤孫施名釋

あかこころ

形状皆本葉
異多但源紅
色多



一種

あかこころ

あかこころ

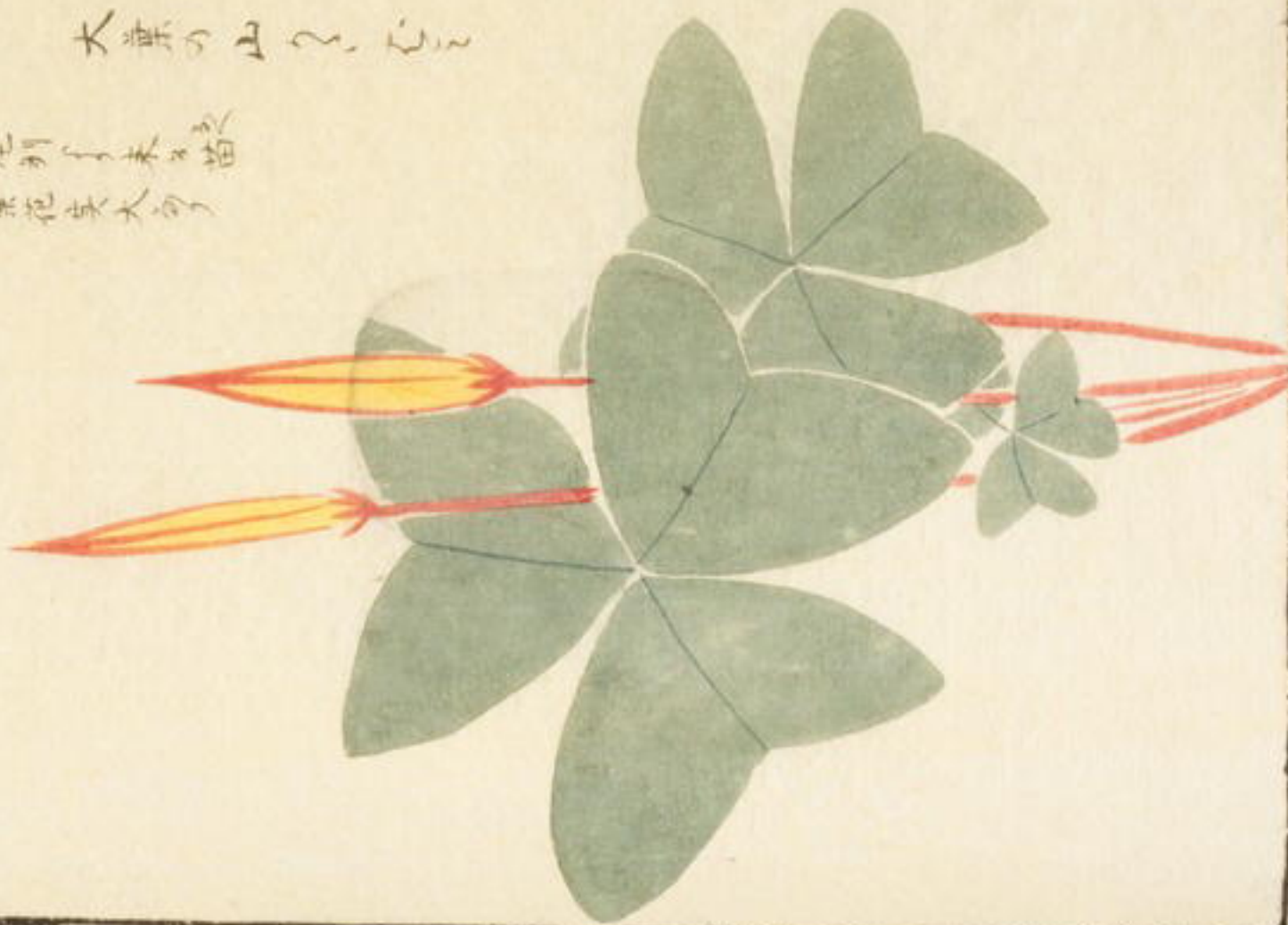
諸國の深山陸地生
形状本葉中異多但葉
大か花淡紅根山
奇葉似細く又一
種白花のあり



一種

大葉の山ろくろ

尾州より来る苗
葉花実大なり



地

錦

ふくろくろ

園の中へあり夏月実なり
生に茎赤くして葉
小く對生す小紅花を用き
小圓子を結ぶ形大戦に似て
三枝あり茎及び葉を摘み白
き汁出づ



金瘡小草

ちくののたまふ

山野ふりし秋冬
 草を生じ形
 葉小似て葉
 厚く圓く深緑
 色春月葉の肉
 小葉花を開
 形五母草に
 似て小く

一種 白花の物



一種

志田ふふふ

本條の如く不延
 引く時生し高
 き四五寸葉を
 耳の春月花を
 開く



離亭草

すめのあし

屋上及び垣の
間小生ひ在る
草の園葉
多し



仙人草

いねのふくき だいづ

えもたん 江戸

婆々 細葉 本草

破々 細葉 野譜

屋上垣の間に冬月実
う生ひ葉小く二分又
て菊葉の如く春月葉の
小く淡紫花を開く実
に葉のふくき園に



一種

紅花
の
葉

ふきん

ふきん

野列日光山小産辰春月嘉
 根く生く葉く香く常く似
 く短く小園堂昔生に春三四
 月梢く淡紅色の花を開く
 四節く柳葉く葉く似く
 實く赤く子英を結ぶ



一種

葉圓く餘齒
 く莖緑色淡
 碧花を開く物



仙 人 掌 草

けいそくそ

陸地の石隙に生れ一根葉生一節生一茎五葉長きれ一茎八九葉
 小至る葉葉の周邊に花実あり是紀興の證類本草小圖に所
 合する冠草此草を以て井口邊草と云然れども井口邊草は井
 口及び井邊に生るる草の總名とるす又冠草霸王樹を
 以て杖樹と云れども獲頤の説に貼壁而生又曰葉細而長又
 仙人杖草の集解に本時珍仙人掌草生石壁上といふ語
 王概に云ふあること知す



一種



崖櫻

ろくろくろく 江戸 やまろくろく 尾州

山中及び人家陰湿の地小生に仙人掌草似て長大なる肥る
 るもの二尺餘小生る葉背小圓を有して花粉を生じ花穂蛇眼草
 小丸れとも極小なり

一種

葉の中心は黄色の斑斜かにあり

崖 棱

ろくろ



一 種

黄斜斑あぶ物



紫背金盤

えんえん

なまきり

紐列那智の産うう石石間小蛇て生ひ茎小葉りて葉群生に
 景天に似て背此糸色粗き鋸齒りて茎の頭小一輪五列の花
 を頂に著す白桐に似て大寸五六分白色小淡紅色を帯ふ後一
 二寸の莢を結ぶ金穀に似て甚毒なり



白龍鬚

あふけ
あふけ
さう
あや

深山の樹上へ生ひ
形石の如く
色枝頭へ帽子
是花多



萬經草集

いふけ

深山の樹上へ
生ひて形
緑の如く
色枝の下
い





苔類

陟 磴

かわどろ

かゝあたの

江中石上生し水流^るに従^ふ長さ三四寸より一尺許^り細^くくもの如^く緑色^{なり}

水 綿 珍時

あをころ

湖池の水中小生し絲線^ををる^る但綿^の如^く水^を乾^して^は張^りや^は薄^くなり^て物^を筑^き後の柳川^{より}出^る粉^は白色^に微^く緑^をを^り帯^ふ蘇^の茶^の色^に似^{たり}

陽 登



水 綿 時

乾 苔

あとの

陽の海中苔
産の形陽登
明の如く相
中株の
食用といふ



江 離

集解李時珍
引張亮吳錄

をこ 江 戸

頭 髮 菜

偶 奇

海中ノ生ル形ハ兎ノ絲
子ハ滑シ如ク赤シ黃
褐シ色ハ滑シ反シ汁
之ハ夢ノ之ハ夢ノ之ハ夢ノ之ハ夢ノ
色ハ多ク食シ用ス之ヲ
以テ足ル之ヲ



石 蕊

はなこけ

山中ノ石ノ上ニ生ル高サ三四十ニ葉ハ枝ヲを分ち生粉シ白シ色ハ花ノ蕊ノ
如ク一ニ

一 種

はなこけ

人家ノ第ノ屋ノ及ビ便ノ所ノ石ノ上ニ日ノ光ノの照る所を最も生じ花の頭が深赤
色ノ花ヲを着く

石蕊

石蕊



石蕊



地衣草

地衣草

人東の庭除年を
經れ、地上の苔を
融す形、毛絨
の如く、深緑色
柳ふ葉を抽き、こ
一十許り赤色上
小帽子を生じ、緑
是花なり



一種

地衣草

地衣草



一種

志やふふ二け

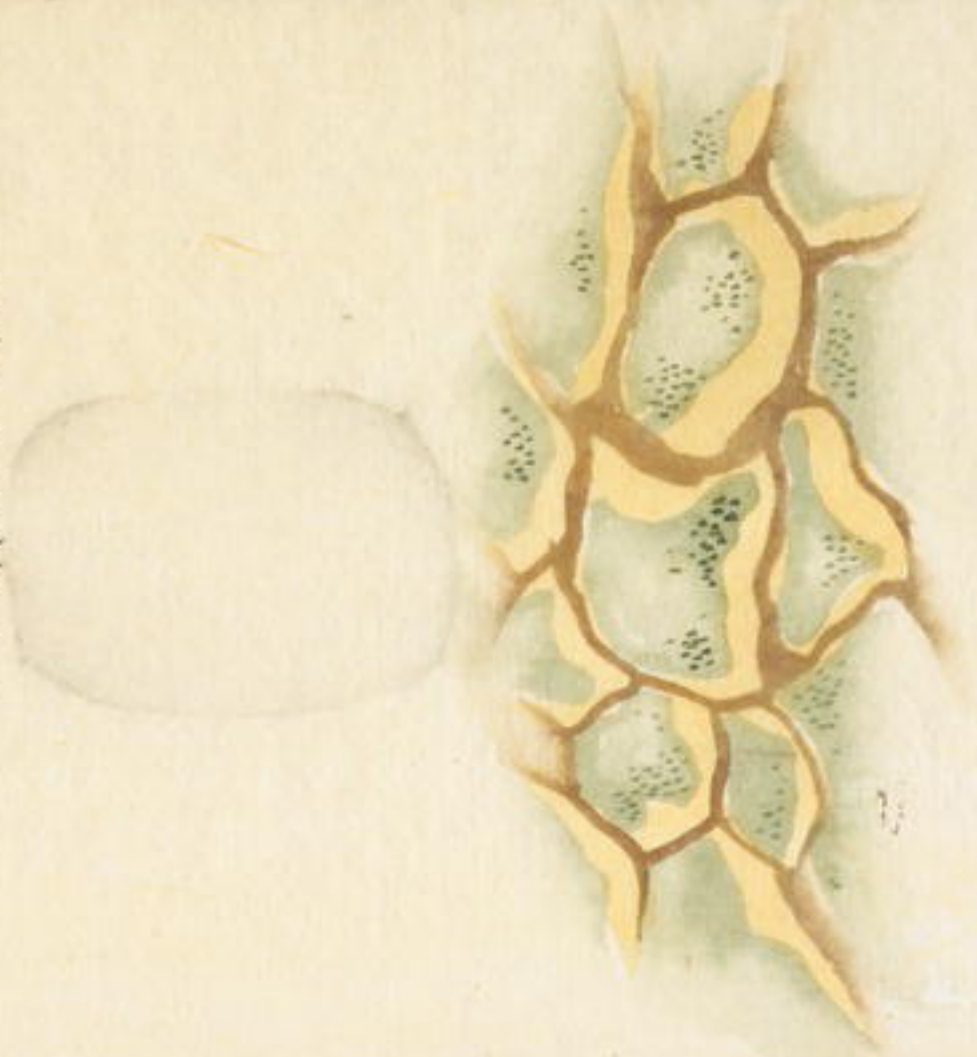
又陸濕の地に生るるふふふ
 葉をふふて枝を合ち初め
 錢の大き日を経て層々肥肥
 大きうう量上葉々莖を抽て
 一十許の上ふ小小帽を着く
 此雄花あり又小孔あり下へ
 盤の地の如く中ふ雌花を
 結ひ小細子を生は今此ふ
 水中ふ生る物を合ち
 四種を同す



水中小
生るる物

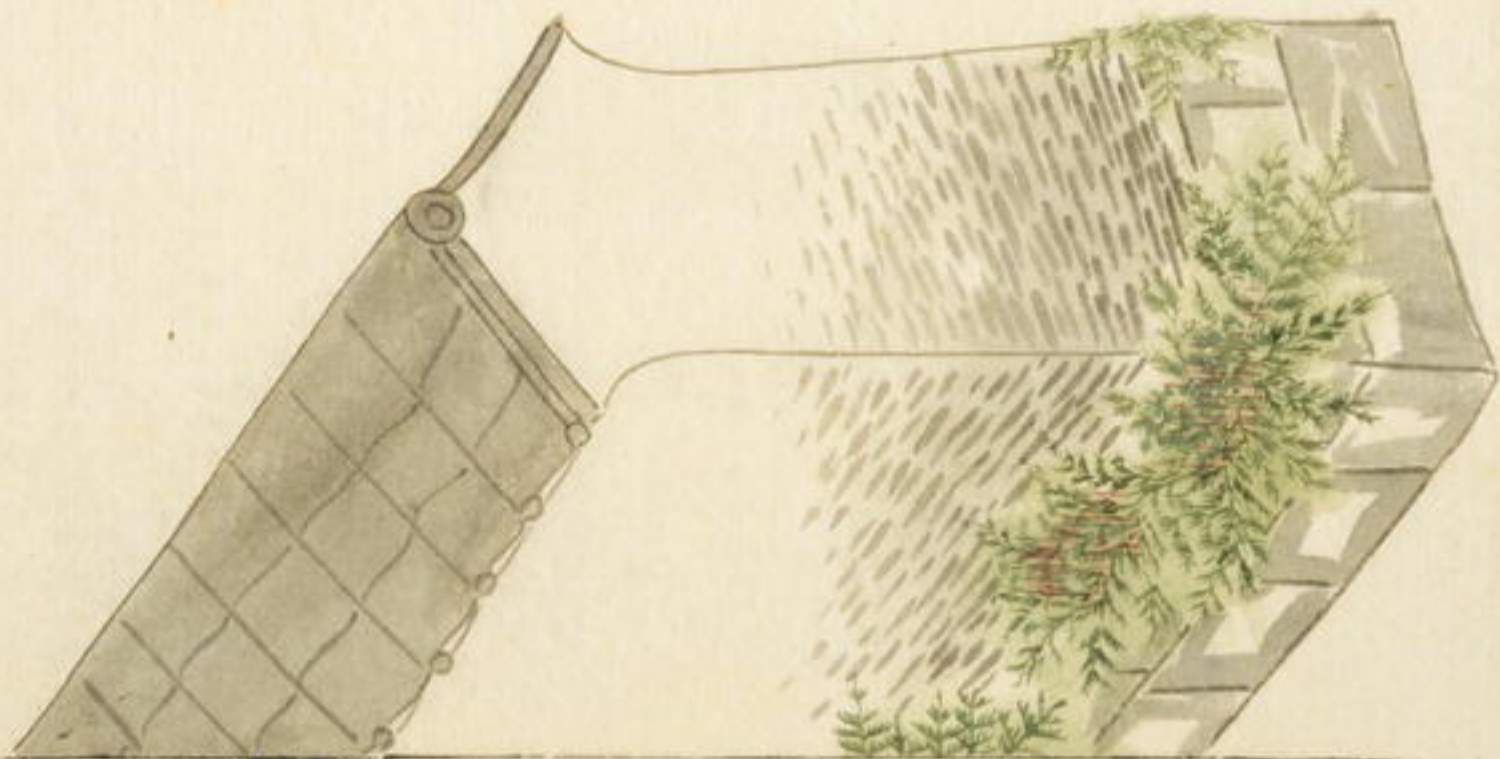
地衣草明大

屋下簷滴の泉青
 苔を生し雨後日影
 小照され地裂け所
 々をく上ふ向ふの
 ち此釋名の柳天段
 柳天皮又附方の作
 水溫處乾き皮多



垣衣

垣橋上か生
 まる岩らう



屋遊

地衣草
の葉屋上
生す物



本草圖譜卷之三十八目錄



苔類

昨葉何草 一

鐵脚婆羅門草 二

一種 いわんげ

紫衣 三

鳥韭 はるあま

一種 小葉の物 四

百葉草 録治 かき草

土馬駿 五

一種 ふんげ

一種 ふんげ

一種 物中忙 所

一種 ふんげ

卷 栢	いけいそ 六	一 種	ふけいそ
一 種	免別卷栢 大觀 かふひ 七	地 栢 類附	ふけいそ
一 種	大さきり	一 種	かさきり
會 生 草 録附	あさふも 九	一 種	度々種断ふ 載る所
玉 栢	日光のまねんそ 十	一 種	千年松 物撰 高野の 小樹 きんねんそ
一 種	ふけいそ	一 種	ふけいそ 十一
石 松	いけいそ	一 種	黄松 かり
一 種	あさふも	一 種	仙人餘 雨湯 望ん 十二

一 種	あさふも	一 種	ふけいそ
一 種	あさふも 十四	一 種	あさふも
桑 花	あさふも 十五	艾 納 類附	あさふも
一 種	木曾の産のユース 十六	一 種	蘭人持来る物
一 種	あさふも	馬 勃	あさふも
一 種	あさふも	一 種	あさふも 十七
一 種	物印に載る所		

本草圖譜卷之三十八

東都 岩崎常正 著

苔類



昨葉何草

あまんけ

深山巖石人家茅屋
 生以葉厚形此の如
 層々肥るより二三年
 長一尺餘を主とす
 を外葉天の如き花
 を横に花を結りて後
 根を又新苗を生以



鐵脚婆羅門草

花葉前條
 異色人似
 紅紫色多



一種

いそまゐけ

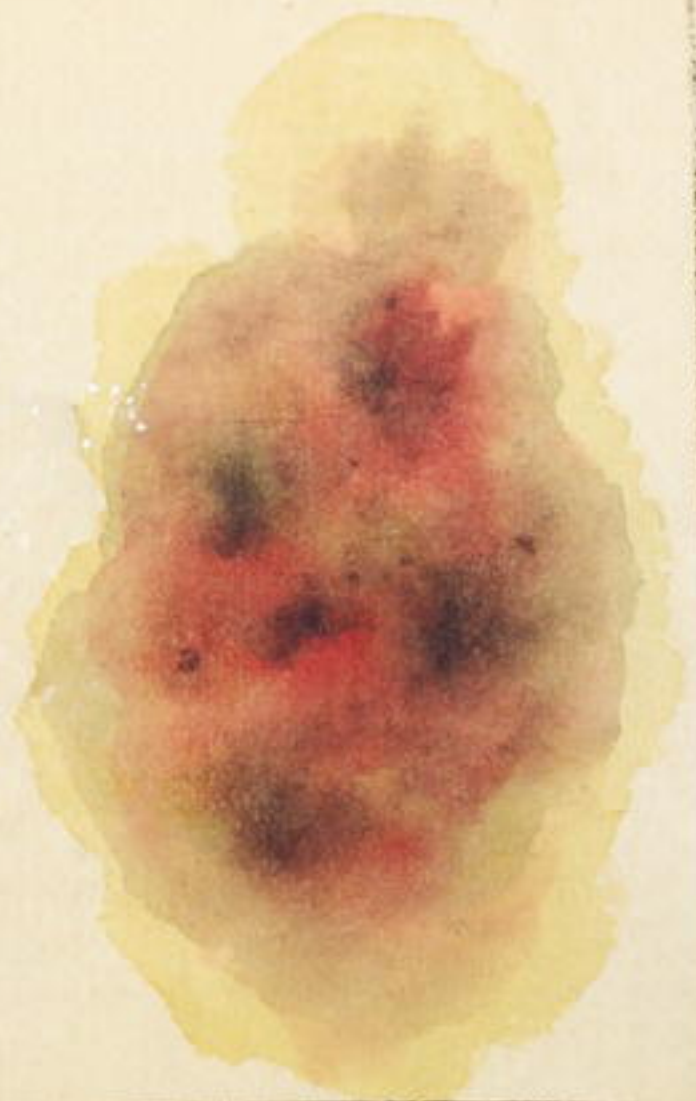
葉厚く幅廣く近
 ずくふ百合地の
 鮮色似て花穂本
 條に異なり



紫衣い 録附

いそまゐけ

雨に後陰濕の
 土地及び水
 石の上生い



鳥 韭

ほうまい

越中の草

此草極陰を好む日
照臨氣ふ産て以濕山
の絶巖朽木等より着
生以形海列骨碎神
以ふ似て葉薄く深
緑色年を越え紫
色を帯ふ此集解大
明の故より長者可
五寸と云ふなり



一 種

各列の深山
陰翳皆以
形前性妙
小同なり但
小く二三寸草
耳通生



百草 附

かろくさ

百草 附

地白練 苗 秋花

山野陰涯の處にあり根は枯槁
ふ似て瘡て春月舊根より生
ハ鹹道結ふ似て高き四五寸
葉の同ふ五瓣の小白花を同く
實も又鹹蓮に似る



土馬駿 すきふ

山中の陰地に生ひ長き
す鉢形杉の苗に似る

一種 ふさふ

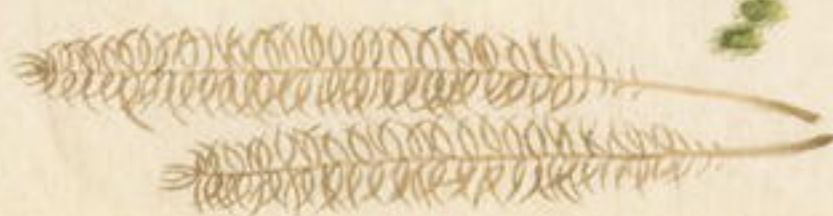
山中の陰地稀にあり
長さ二三寸葉は灰
く銀鎖に似る

一種

物入忙 藝
所のりの



一種 ふさふ



一種 卷柏 卷柏 卷柏

根土石を延引一跡ふ
莖を抽き高十寸許
葉圓錢の如し



卷 柏 卷柏 卷柏

衆々源山の石の間ふ
生ひ根は柳の如く
葉は扇柏の如く日ふ
乾ひく巻き雨ふ潤ふ
屋ふ



一種

うけふ

形状本極ふ
豊ふは但
葉ふて側
栢ふは



一種

あひた

かふは

充列巻栢大観
本草

處々深山石上
生以乾て巻栢て
舒ふて巻栢
小里ふは



地 括 録附

あゝあゝうけ

あゝあゝうけ 戸江

ふまうけ 羽

山中の陸地ふせす葉の形花梅似ふ
似て細く蔓地ふせす石松似るか似
う草を壺布し地と見さるふ至る
夏月葉を抽し直ちふせす二三寸葉
の間ふ細小葉花を用く



一 種

小 草 物



一 種

大 草 物





含生草

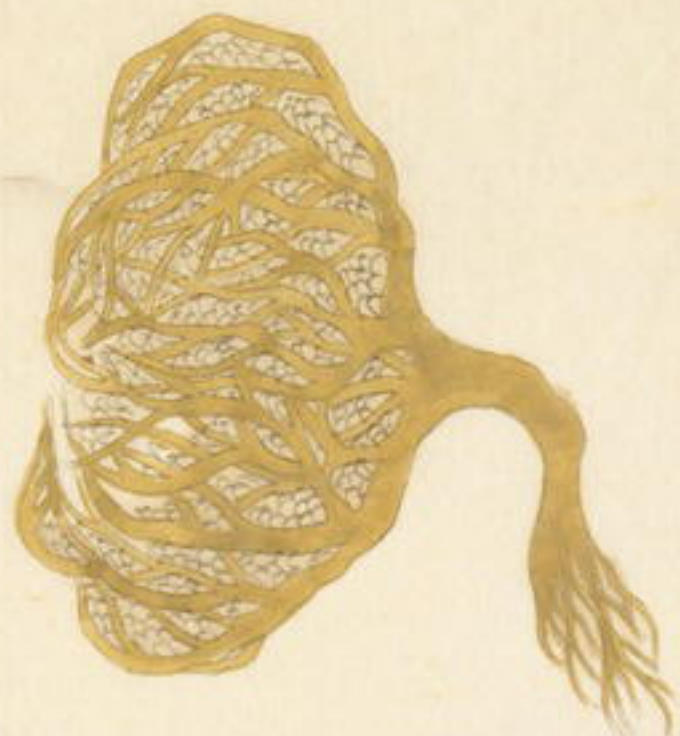
あんじん草

口内ツハシエリカウ 蘭

巴南齊亞國の産を蘭人舶来のものより一根本を合ち枝同小花
 実を結ぶ葉を巻縮し潤せし展長を蘭器曰生難跼国素
 如卷栢巾大性平無毒主婦人難産含之照計即生俗子
 字を解する能す誤て但臨産の時盆に水を盛り草を
 浸し其展るを以て必産の兆と云ふ

含生草

度々掘新
載多所の形



玉栢

めつふまけん

野到日光山多
一又北地の深
稀ふあう甚妙
小似て東細く
く似て多う大
りの五六寸に
る夏月梢に穂
生るるとす許
葉赤色の花
を枝生い



一種 千手松 一種 千手竹

千手松 物理 千手竹 衛 敬

紀列高野山小多く長々三四寸量
細く軟うして無の如く乾燥軟
年を経るとしても緑色猶鮮あう



千手竹

東の深山皆あう重地
以て似て並高く抽つ



一種

みどりけ

東の深山皆あう
中国にも多し山
洞流水の東に
以て耳を聳生し
深緑色あう



石松

石松

一種

石松

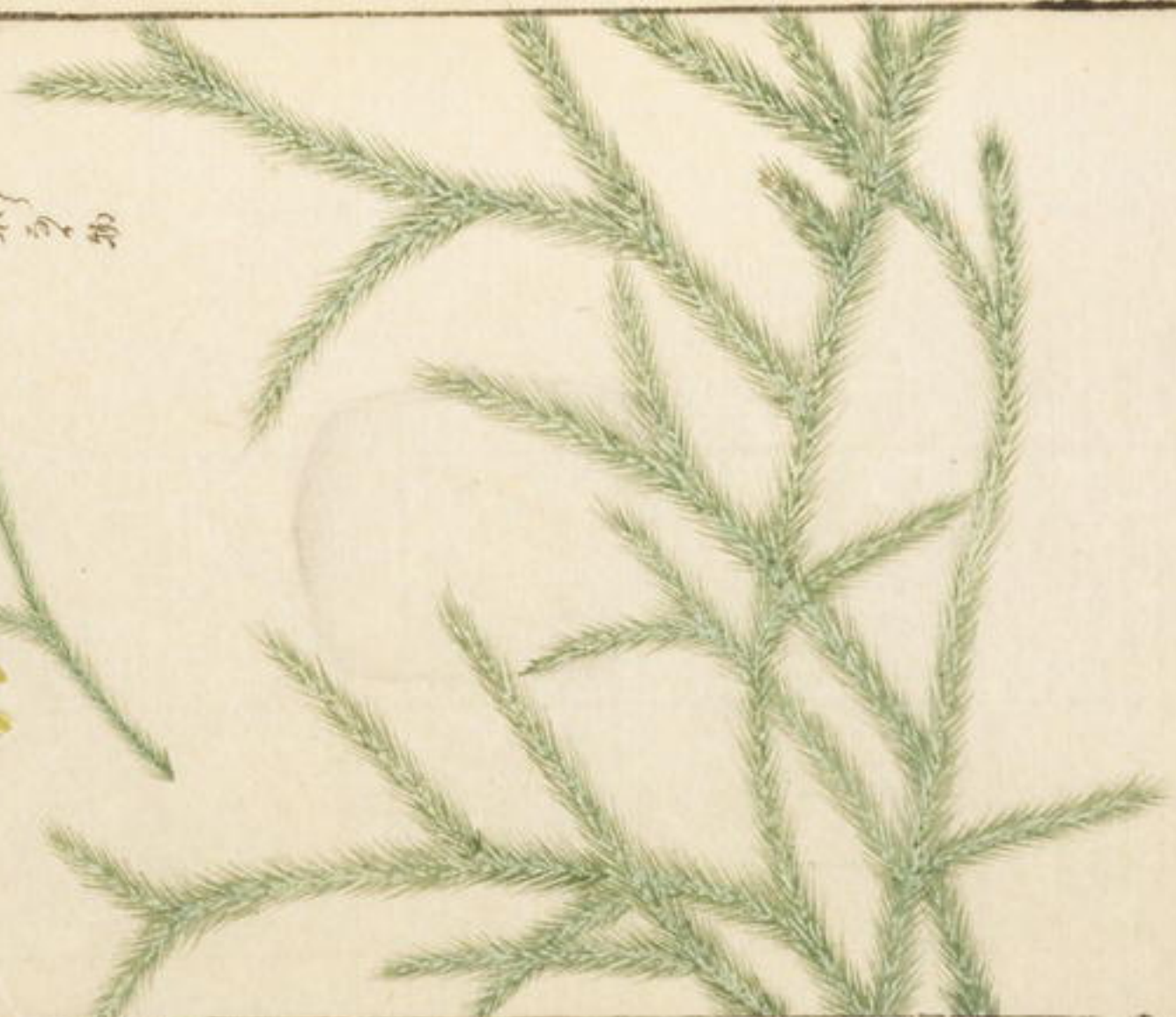
大葉の石松

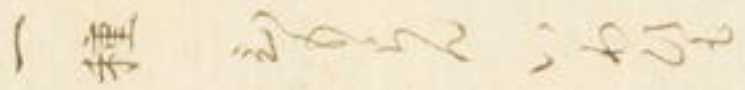
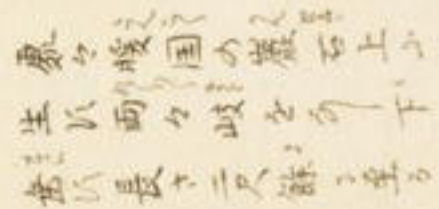
北地の原山に生ず
延び長く大葉を
生ず玉栴檀と云
の蔓生なる物なり



一種

短小の石松





20-10-1914

仙苑人集 羅漢雜志

千人續 藝部方
物書

一種

あまふし

深山小産



一種

あまふし

中康々陸地

一種

あまふし

いれみ

あまふし

常列此波豆列八丈等の
 木石上小生に葉極小
 似て莖長三尺許に至る未
 岐之分ち穂を生小葉密
 布一節小花を開く



一種 むかしん



桑花

いふのちふりし

桑樹を全に紅く時、
此花を生じ地衣は
似て粉緑色なり



艾 納 附 錄

まの
ちふつけ



一 種

木曾の産

エイスラニ
トセモス
荷蘭

深山隱地
木石上
み生以

一 種

蘭人持
来る物



一 種

まの



馬 勃

つちうき まるねたま

竹木林間陰濕の地
 生い初、固く硬く淡
 黒褐色日を経れば開
 き七八辨に分れて地小
 乾くと上こ小き圓實あり
 種は楕圓の形や中心
 小孔あり物不腐る
 時、黄赤色の花柄を
 散る、其七八辨、日
 不乾く時、巻き而ふ
 洞ふ時、舒て地をう



一種

まるねたま

冠宗英の説
 大如斗と
 ふりう





一種

物く印し
所うの物

本草圖譜卷之三十九目錄

雜草

井口邊草	ななまき	三	樹孔中草	板木の孔の中	
紫給	ななまき		一種	千葉の物	
一種	薄うの物		一種	白花の物	
一種	うきふりの物	四	一種	うきふり	
一種	黄の花の物		一種	あまがき	五
一種	えんぐさ		古科草時珍	えんぐさ	七

鶏脚草

あそぎす

一種

あそぎす 八

一種

紫花の
あそぎす 九

一種

黄花の
あそぎす

一種

黄花の
あそぎす 十

一種

木曾の産

刺虎

あそぎす

黄花の

十

一種

重瓣の物 十一

一種

細葉の物

地茄子

あそぎす 十二

田麻

あそぎす 十四

一種

あそぎす

女心草

あそぎす

苦茄子

あそぎす 十五

一種

十六

獨脚仙

あそぎす

一種

あそぎす 十七

一種

あそぎす
花上に向ふ

一種

あそぎす 十八

一種

黄花のあそぎす

撮石合草

あそぎす 廿

一種

菊葉のあそぎす

一種

あそぎす 廿一

一種

あそぎす 廿二

露筋草

あそぎす 廿三

九龍草

あそぎす

一種

あそぎす 廿四

碎米柴

あそぎす

井口邊草

一名井口草
一種草仙人掌草
發芽時諸草發
茂時多





樹孔中草

古木の穴
中に生ずる
草の類也



紫給

なだまき

一種

千草の類

一種

子
方り物



一種

白花り物



一種

かきふり物



一種

かきふり
平葉の物



一 種

黄花の物



二 種

あふふ
ふふ



一種

くろくろ

くろくろ



紫給

ねだちき

樓斗菜

秋花

地方處々深山に生く。根より出づ三枝九葉を有し。葉は烏頭や又
 葉の形等しく似て高う一尺許り。春日に開き、紫の花を下に開き、葉の先
 下の向ふ所に白色を帯入る。葉の端に鋭い歯状の形を有し、葉の上に出る
 曲を多く実の止る角合し、葉の縁は鋸歯の如く、中に細黒子あり。

一種

くろくろ

根は大力を有し、葉は紫色、十餘片あり、白頭、葉の形に似たり。

一種

くろくろ

くろくろ

冬月、根より生く。形はたけなすに似て、小く、葉は小白花を開き、根は小指の太
 さ、烏頭やに似て、珠を有す。

吉祥草

くろくろんさう

吉祥草

福別

観音草

大自山

人家庭際に栽ちて紫の花を鑑み草履の如く短く葉緑色を周す以て快月草の
 脚の種を以て二三十節あり六瓣の紫の花を攬集す香力至る一実を
 結ぶ紅色を以て南燭の花に似て祥草の白花詩の如く花の如く吉祥
 ありと云ふ詠む曰く草花の美しき百種推し此草不尋常一朝紫色
 花能試可く其家百吉祥又一種琉球草の形状異なり但長大
 あり物あり





鶏脚草

あろみ子

セリンテ

エロイトスリエ 楠荷



起々山中あり
 春三月宿根より生
 止ぬる百合の如
 小似て花は軟
 肉は黒糖の如
 茎高き三尺秋
 日熟すと花を
 摘み六瓣あり
 白色無斑り点
 あり



一種

やまぢりみ子

形葉本條の同く
般しく觀長

二種

紫花のわらみ子

葉光の茎小毛茸
ち花の葉紫也か
と深紫色の斑り





一種

黄花のわろき子

葉列朝、熊山の産、花の散る、毛茸、黄
 ハ、黄色、長、少、き、葉、赤、色、

一種

黄花のわろき子、生

葉列朝、熊山の産、花の散る、
 葉、大、小、四、五、葉、不
 黒、斑、点、ある、物、又、散、り、同、種
 葉、色、赤、く、影、あり

一種

たまか己

信別、本、曾、山、中、の
 あり、葉、赤、い、種、を
 小、く、や、高、さ、尺、餘、
 小、く、生、り、頭、小、
 二、花、を、開、き、後、
 黄、色、



刺 虎

あざむね

らるるるるるる

あざむね 外取

あざむね 木 諸

刺 虎 代牛

豆列 聚列 越列 弊列
 駿國の山中 あり
 木の 高 二尺 小 名
 り 敷 ず 軒 非 木 中
 似て 犬 犬 生 ！



● 葉の 細 針 刺 あり
 小白 花 を 解 き 集
 め 結 ぶ 此 色 大 紅
 び の 一 種 小 葉 あり
 似 たり

了多花黄



物^の種^も重^や種^一

物^の種^一
細^こ葉^は

黄 花 了

金 子 子

や ま 子

石 艾 木 草

山野中自生あり二月花根より時以類ハ一葉ハ八九葉對生一節芽突
出り葉ハ似て黄緑色毛茸あり三四月花あり四瓣黄色大ニ標棠花
の如し大ニ後葉を對ハ一十許り根の形細く升麻の如し
黄黒色節多し味ハ辛辣木子の如し形求留根の證類本草に載
る類合也

地 茄 子

フ 子 子

ニエムニエコリア 節

ベニニクコロイト 節

形求葉細く似て
葉小く堅く微
毛あり冬凋以夏
月葉の間ハ五許
り小黄花を解く
實ハ茄の如く大
味ハ色小く



田麻

あさくさ

大和草

かすみ草

のちぢ

山野に多し。實は生ひ葉等麻の如く小く互生し。高は二尺許。秋月止。瓣は小。黄。花は白く。莢は結ぶ。長さ一寸許。赤。小豆。湯。煮。中。に。細。子。あり。



一種

くさ
くさ
くさ
くさ



田舎の野に生るる桑の似
て小く小葉の花序を有す
開き後細子を結入

女心草

ちまもんげ
ふうつふ



江州伊吹山にあり冬月より生
葉に通泉草の似て微白色
を帯ふ細葉蔓の如く土上を引延
し根を以て春日葉の中
より茎を抽出四五寸長を有
四輪の白花を開き後角を結入

若芥子

たかきふり 雄

祐ふりつ 雄

信州上田の若
 芥の根を生い
 糸に通泉車
 此の根を細く
 切て一二月白
 花を散らし後
 名を燐入



一 種



獨脚仙

あふさう 江

ふみふさう

越々原山の陸地皆あ
武列道灌増及び早稲
田の竹林中より生れ
高根より生れ高根より
六十歳より生れ高根より



金に輝く如く葉の中
心より葉を抽出し上
あふさうを包む其花の
鋭形如く一方より白
色に紅紫の色及び黄
を帯入根の竹根の如
く鋭く如く鋭く

一種

あつちりや

野列山及以信列
惠那山子産以形求
條同入て小く三寸
許るる



一種

野列金峯山及以信列
富士山等子産今賦
ふ高き三四寸より花
以上花き細く明る



一種

あつちりや

野列信列等
の慈山より
叙白皮伝
似て四五葉

六葉を楳と出
のま一花の形
本條同く白花
の物日光より





一種
黄
花
の
あ
な
な
な



根
の
あ
な
な
な
の
あ
な
な
な

撮石合草 ちんちんそう ちんちんそう 江

アリエ子ルうヒエルカシ 荷

平日常根より生に葉の形は似てきんちんそう大能由ち周遊葉色を
 帯ふ方葉数生一節に一尺餘二三日葉の間に紫の花あり形並母
 草の如く長く茎地を擡ち葉の形は似てきんちんそう根を以て



一 種

菊葉
分三子



野別日老山草花似菊
取蘭花似之鋸齒
二三月花を柳

一 種

菊葉分三子 菊葉分三子
菊葉分三子 菊葉分三子

葉は五分の二子小似て
小く蘭花二三寸花淡紫
色後葉を赤土上より
採りて是れ根を切



一種

山藥

武州豐嶋の山に生ずる
 其の根を以て藥に用ひ
 其の葉を以て茶に用ひ
 其の花を以て藥に用ひ
 其の根を以て藥に用ひ
 其の葉を以て茶に用ひ
 其の花を以て藥に用ひ
 其の根を以て藥に用ひ
 其の葉を以て茶に用ひ
 其の花を以て藥に用ひ
 其の根を以て藥に用ひ



露筋草

五月五日
花



一種
實花四
國之果

琉球産分、三形草
草子如、四時開、凡
無、長二三尺、春夏の
間、新葉を生、葉中
より、油を抽出、高、
良、餘、枝、分、五、種、

小、草、種、多、
離、形、枯、梗、
如、小、実、の、形、
門、外、の、如、く、
無、く、名、を、得、る、

九龍草

水邊生

みどり草

まじり草

こころえ

アリス

クリエニアタ



武州多摩川の水邊湿地に生ず。又水中より生ず。小草なり。葉は水邊に似て小く、光澤あり。夏月高き四五寸無き間、花を細く紅色なり。

一 種

水田中
生ず
對蝦共
小なり



碎米菜

たぬけふさ

碎米菜

校荒本草

菜音通以
同物字平
溝漬及の取
中ふ野以

